H28 地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議 講演

Geoアクティビティフェスタ2015 最優秀賞受賞作品 「だれでもガイド」

その紹介と地理情報活用

首都大学東京大学院都市環境科学研究科観光科学域 准教授 倉田 陽平



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY







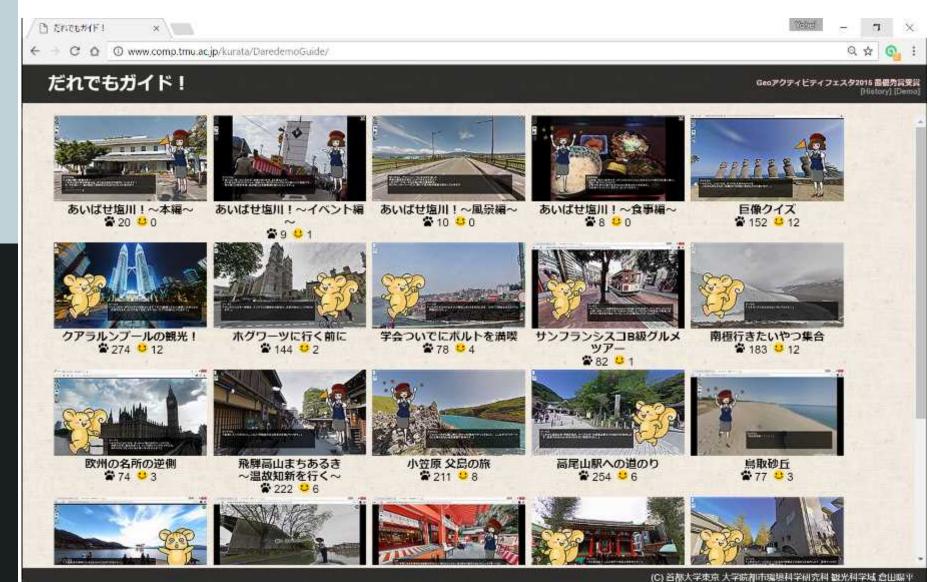
より多くの人に知ってもらいたい





「Web上での仮想ツアー」 という提案

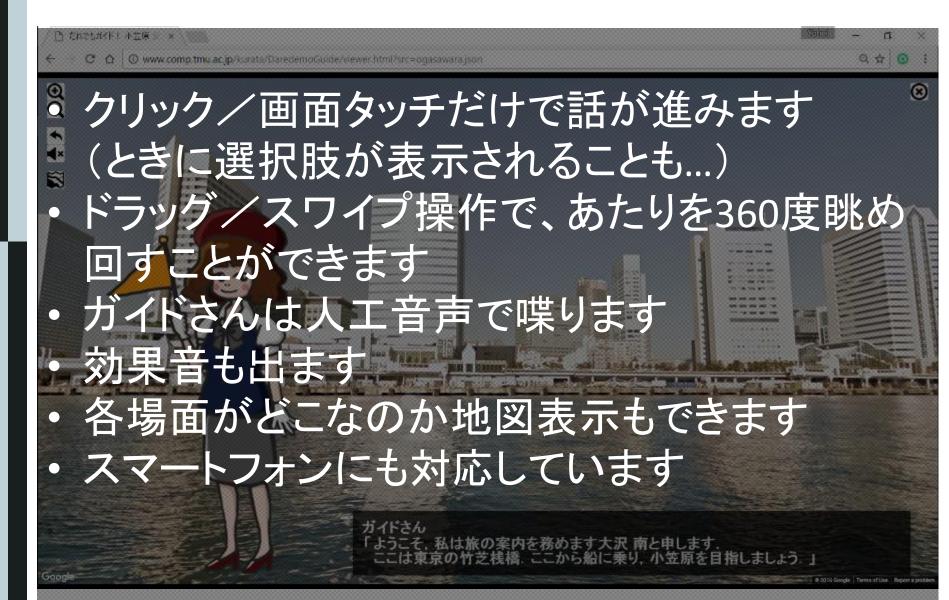
トップ画面



閲覧画面



閲覧画面



「だれでもガイド」の誕生背景



背景① 仮想ツアー

今日、国内外の多くの観光地やホテルなどが 現地の様子を体験できる仮想ツアーをWeb上 で提供している



http://www.vrjordan.com/

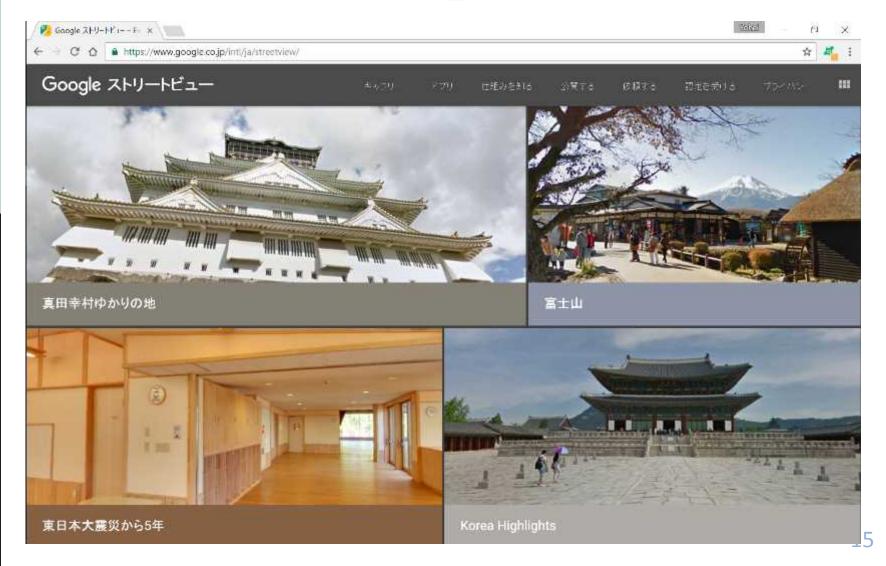


http://www.travel-to-bhutan.jp/13

背景① 仮想ツアー



背景②: Googleストリートビューの「観光名所」への進出



背景②: Googleストリートビューの「観光名所」への進出













背景③: Googleストリートビューを 利用した観光プロモーション

- 2012 JTBがGoogleストリートビューを利用した販促サイトを立ち上げる
- 2014 観光庁が6観光圏にGoogleストリートビュートレッカーを貸し出し開始



背景(4):アドベンチャーゲーム

- 1980年代 世界的流行
- 1990年代~ 日本独自の進化
 - ノベルゲーム
 - 同人
- 2010年代 地域振興を意図したAVGの静かな流行



ポートピア連続殺人 事件(1985)

弟切草 (1993)

ひぐらしの泣く頃に (2002-6) BRICK STORY (2013)

戦略

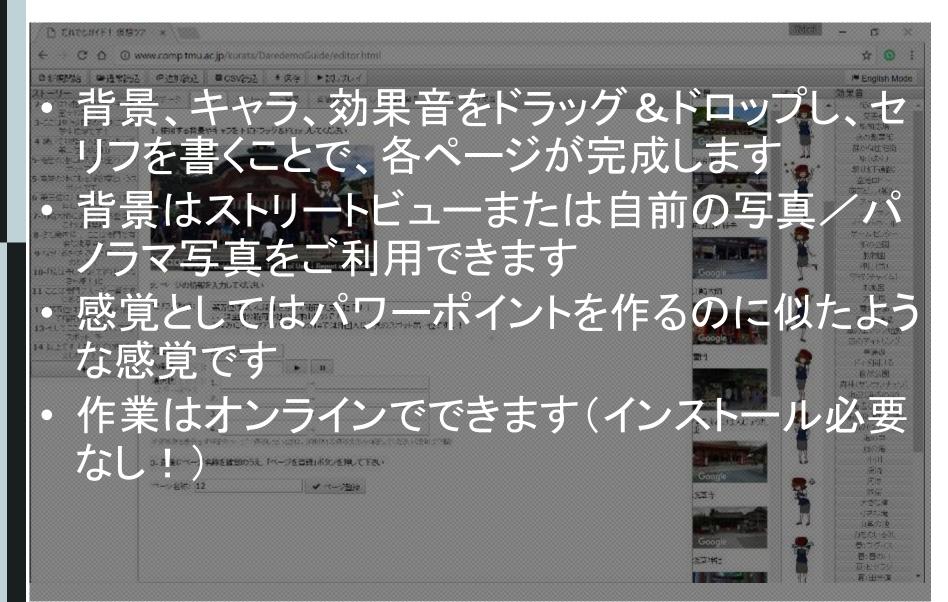
- アドベンチャーゲームを楽しんで育った世代 (30~40代)への訴求をめざす
- 閲覧だけでなく、だれでも簡単にコンテンツを 作成・発信できるようにする
 - 背景にGoogleストリートビュー採用
 - 徹底的なGUI化
 - 機能のしぼりこみ

利用者参加によるコンテンツ拡大

編集ツール



編集ツール



教室での実践

2015年7月,2016年7月

- 対象:首都大 観光科学域 院生(M1)
- ・ プロセス: 10分程の説明後、各自で作業開始
 - → 学生があまりに熱中しため、翌週までの宿題に
- 成果:



見えてきた教材としての可能性

- 学生が提案した観光コースを生き生きと表現できる
- 成果物を学生が<u>互いに</u>楽しみあえる
- 取材やデザインに労力を費やさなくて済む
- 良い成果は即、ネット上で発信できる





さらなる普及に向けて



首都大学東京みやこ祭

2015年11月 東京都八王子市



首都大学東京 みやこ祭

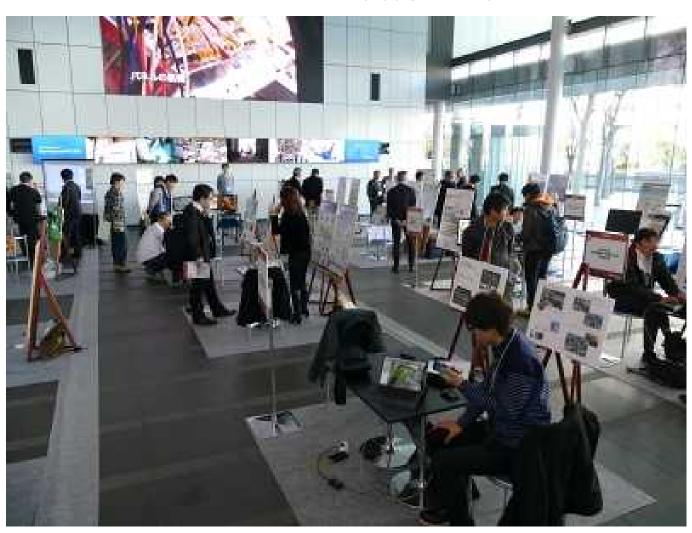
2015年11月 東京都八王子市



首都大学東京 みやこ祭

2015年11月 東京都八王子市



















実用例

- ・ 青山学院大学 総合文化政策学部 岡部ゼミ
- 広島県立廿日市高等学校(地歴科)
- 箱根湯本旅館 仙景





今後の目標:

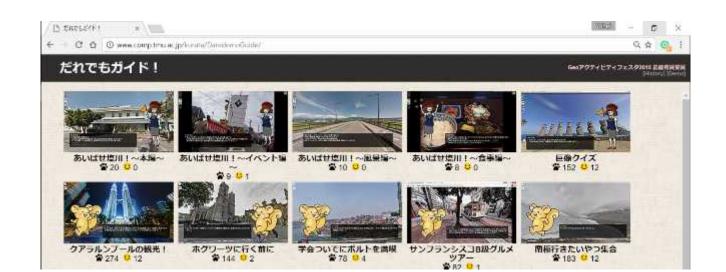
一般市民による地域案内の場づくり

- 観光立国、地方創生、オリンピックに向けた流れの中で、今後「地元の情報を発信したい」という市民が増えていくのでは?
- しかし今まで一般市民の発信手段は、せいぜい SNSかボランティアガイドくらい
- 「だれでもガイド!」はそんな彼らに、世界に向けて 地域情報を発信する機会を与えられるかも
- そこで「だれでもガイド!」を通じ、ユニークな観光情報の発掘を行っていきたい

課題

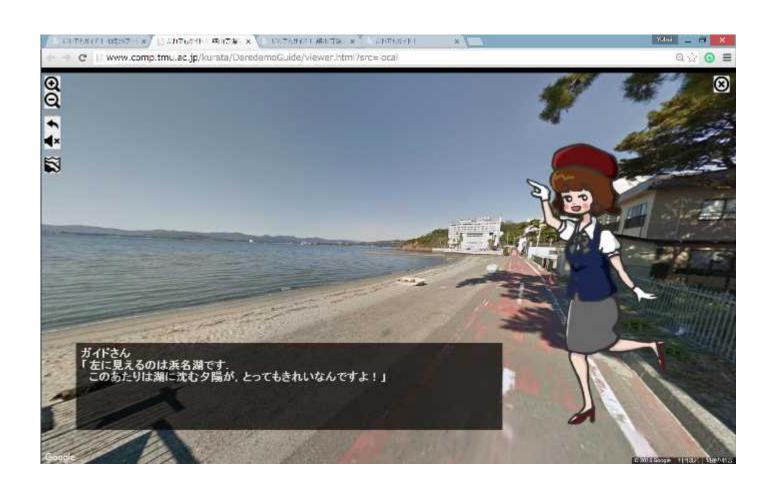
- ・パノラマ画像の利用簡便化
- ・授業実践ノウハウの集積
- 投稿動機づけの仕組みづくり
- Google代替





現在、開発中





だれでもガイド

